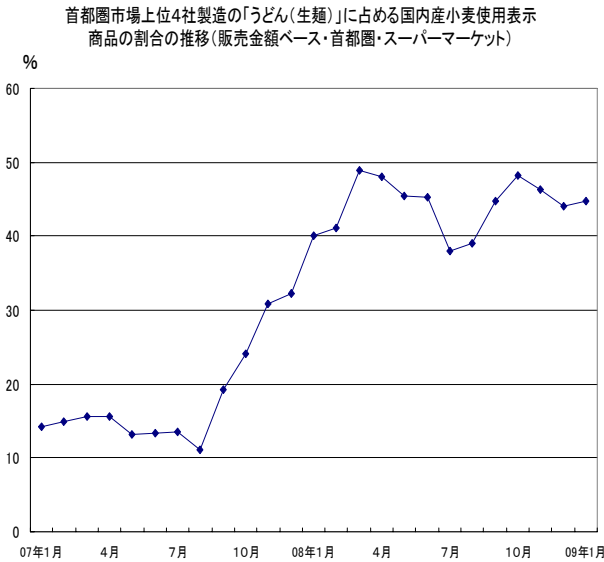
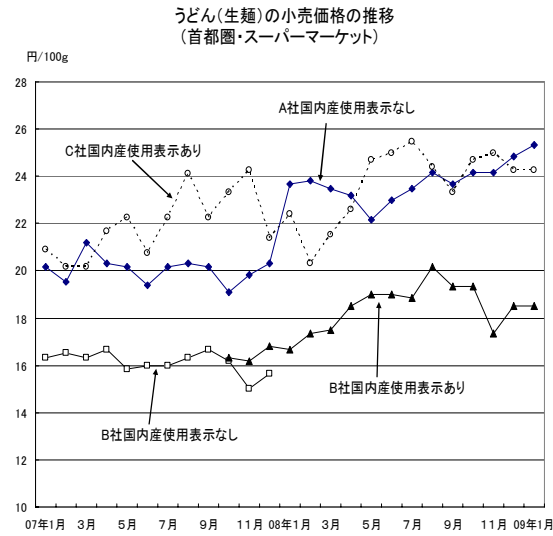


道県産別の国内産小麦の単独使用割合の試算結果(2006年産)

	収穫量 (万トン)	流通量 (万トン)	国産単独使用 量 (万トン)	国産単独 使用割合
北海道	51	49	22～24	4～5割
福岡県	7	6	2	3割
佐賀県	5	4	1	2割
以上3道県計	63	59	24～26	4割
北関東4県計	8	8	1	1割
その他府県計	13	12	2	2割
全国計	84	79	27～30	3～4割

(資料) 農林水産省「作物統計」、製粉企業9社の業務データ等を基に筆者が試算

- (注) 1. 収穫量は「作物統計」、流通量は大手製粉企業4社と中小製粉企業とのシェア等公表されている数値、国産単独使用量は、筆者聞き取りにより推計した。
2. 北海道、福岡県、佐賀県産小麦については、3道県での聞き取り結果を基に、それ以外の府県産小麦については、福島県、群馬県、愛知県、滋賀県、香川県、山口県、大分県、熊本県での聞き取り調査の結果を基に、①農林61号やそれに近い特性の品種、②ニシノカオリ、ミナミノカオリ、ダブル8号等パン用の適性がある品種とに分け、それぞれ毎に推計した。



(資料) 日経メディアマーケティング社による首都圏スーパーマーケット93店におけるPOSデータに基づき筆者が集計

(注) 図5では、2009年1月現在、「国内産小麦使用」の表示のある商品は、発売時より同表示があったものとして、また、同表示のない商品については、発売時より一貫して表示されていなかったものとして試算を行った。